

意見交換会

A グループ 議事録 (対面8階)

大雪注意報の為、対面はクラブからの出席が2クラブと関係者7名の計9名にて意見交換を行った。

クラブからは「①茅ヶ崎子ども未来応援基金を市に協力して立ち上げて以来、応援してきている。令和5年がクラブの40周年の年度となるので、その基金を活用して子育て支援センターや子供食堂などに取り組んでいきたい。」という話と「②昨年、地区補助金を活用し、市制施行50周年に合わせ〔伊勢原村開村400年記念誌〕を作成して市内中学校の全生徒へ配布する事業を行った。」という話がありました。

ガバナーは「3月は水と衛生の月間であり、地区大会の翌日3/22は「世界水の日」であることや、環境ということにおいては2030年までに世界の気温上昇を1.5℃までに抑えるように、できることをしましょう。」と話されました。

奉仕プロジェクトの各委員も自クラブで行っていることや、周年行事、市制記念などと時折々のタイミングで奉仕活動をするのはいいチャンスであるなど、奉仕に対する考えを述べ、ちょうど時間となりました。

C グループ議事録

- ・主にポリオの募金活動を行った。

第1グループのロータリアン、ローターアクト、三浦学園ローターアクト、米山奨学生を含む計105名が参加（京急沿線3駅に分散して2時間活動）16万6104円の寄付金が集まった。

地域の方にRCの活動や奉仕の精神を理解してもらえ交流ができた。

- ・ほとんど事業出来ていない

寒川町と協力し、8月びっちょり祭り、11月産業まつりに参加してポリオ募金を行う予定だったが、寒川町がイベント自体を中止。

- ・奉仕・社会プロジェクトとして青少年団体への寄付。

ボーイスカウト1団体（少子化で2から1団体になった）、寒川神社少年館に寄付。

- ・職業奉仕として1月に職場訪問を予定していたが、コロナ第6波の影響を鑑み中止。

- ・地区職業奉仕委員会に出向している島村会員に卓話という形での例会を開催。

（テーマ：職業奉仕、社会奉仕というものはどういうものか）

- ・社会奉仕プロジェクトとしてできているのは2、3割。

- ・社会奉仕活動としてコスモス例会を25年継続。

元会員の畑にコスモスの種を植え、花が咲いたら市内6か所の障害者施設の方を招き、コスモスを愛でる交流をしている。

本年度はコロナ禍のためお招きできなかったが、各施設には時間を分けて来訪してもらった。

- ・また各施設に、「コスモス畑に来て食べてほしい」とお菓子をお配りした。

- ・ロータリークラブとしても、コスモス畑で例会を開催。

- ・綾瀬春日の創立30周年記念事業として、子供食堂開設を計画中。

コロナ禍のため、思うように進まないが、4月下旬の第一回子供食堂開設予定に向けて準備中。

- ・RIシェカール・メータ会長のEACH ONE BRING ONEの取り組みを推進し、7名の新入会員が入った。・樹木に関する奉仕活動がコロナ禍の影響でできなかったこと。

- ・毎年「えびな健康マラソン大会」への協賛をしているが、今年はイベント自体が中止。

できたこと。(会長がコロナが続くことを想定)

- ・ 地区からの補助金も使い、海老名中央図書館に紫外線の消毒器の寄贈をした。
寄贈の際は、市長を招いた
- ・ 地域で活躍している方を招待して卓話を依頼
 - 1) アベユリコさん
アドラー心理学を学ばれ、市で相談員をされている。
卓話内容：子供食堂など、孤独に対して。
 - 2) スガワラ会員
他の RC でも卓話をされている方。
交通事故で頸椎を損傷され首から上しか動かない。
弁護士の資格を取って活躍中。職業奉仕の卓話を予定。
 - 3) 相模原 SC サッカーチーム。
相模原でどういう活動をしているかという卓話をしていただいた。
- ・ 従来の水源の森林活動に加え、環境を意識した結果、SDGs の 4 つの目標に取り組んでいくことを新たな項目に加え、活動を発展拡大させようという意識を高められた。
- ・ コロナ禍でいろいろな事業が中止となったが、
毎年「障害者とその家族の会」のクリスマス会に参加してプレゼントを寄贈しているが、今年度規模は縮小したものの参加することができた。
- ・ 水源の森林活動は 5 月に予定。2022 年度はぜひ実施したい。
- ・ 5 月、6 月の活動として、継続事業のエリア内の小学校への図書の寄贈は、
コロナに関係なくできるので実施していこうと考えている。
- ・ 水源の森林事業は 13 年目。教育長の話によれば、中学生が楽しみにしているということなので、
可能な限り足柄の目玉として続けていきたい。
17 名という少人数のため、他の RC の方にも手伝ってもらえたら助かる。
- ・ 横須賀の状況の報告
第 1 グループは昨年 70 周年を迎え、古いグループが多い地域。
三浦 RC はジャガイモの苗を 1 年がかりで成長させ、
地域の障害のある子供たち(バス 3 台) を招いて
芋ほり体験をしてもらって奉仕事業を 30 年以上継続している。
コロナ鎮静化の時期に実施できた。
- ・ インタシティーミーティングに変わるべく、ロータリー奉仕デーという形で
各地域進めていると思うが、横須賀を中心とした第 1 グループでは、
市街から海岸線にかけての清掃活動を毎年実施。
今回は第 1 グループ全体で実施する。
R1 ロータリー奉仕デーを 3 月から 6 月頃に延期すべく再調整。
高校生、ボーイスカウト、ロータリアンなど 500 人以上が
参加する大きな事業。ゴミ、環境への意識に着目。
- ・ コロナ禍の厳しい中、それぞれ工夫して活動されている。
クラブに持ち帰って参考にしたい。
- ・ 芋ほり例会は 30 年以上続いている。
5~6 年前まではさつまいもだったが、蔓を切るなどの準備が大変なため、

今はジャガイモで実施。

田園調布 RC から子供食堂の児童 10 名が合流。大変喜んでもらえ、

今年も参加したいと言ってくれている

今年、芋を植え、世話をし、収穫して料理するところまでの

一貫した作業としてやってみたい

- ・コロナ渦中でも各クラブは工夫している。

橋本 RC 橋本駅界隈を毎朝清掃、オリンピックでは、

相模原でボランティアが人員整理他に協力。

- ・今年 I M が無い代わりに奉仕デー。世界ポリオデーに次ぐ 2 つ目の目玉。

第 5 全体で大きな 2 つの事業。

里山整備「ホテル舞う相模原事業」

(5/21) フルカワヨシヒト先生講演 津久井文化会館。

(6/11) ホテル祭りに RC 参加予定。鑑賞会 (マスコミにも連絡)

桂川・相模川クリーンキャンペーン (5/29) (第 4G。第 5G も可能な人は参加)。

- ・藤沢の地で皆さんとお話しできれば嬉しい。

D グループ議事録

- ・11 月ポリオ撲滅キャンペーン

・藤沢にある夢ちゃん食堂という子ども食堂の手伝いを行った。露店のようなものを出してお子さんに遊んでもらった。100 名以上参加した。

- ・幼稚園児のピーナッツ堀を行った。560 人参加

- ・コロナの影響でなにも計画していない。

- ・コロナで活動できていない。3 月にダンスフェスティバルやる予定。

- ・少年サッカーへの大会に対する支援継続している。キッチンひばり野という子ども食堂への支援行う予定。

- ・剣道サッカー大会への支援。子供たちと交流している。五行歌を作るための支援。

子ども食堂へオープン寄贈した。使わなくなった靴を集め、洗浄してカンボジアに贈る活動行う。

- ・コロナで出来ないのは分かるが何か施策を考えて実行してほしい。

- ・ロータリアンとして人の集まる企画するのが難しい現状理解している。

何が出来るか皆で考えるのが大事だと考えている。

- ・2 月 5 日に奉仕デーを開催しました。健常者と障害者をつなぐ手段について行った。

この会議が奉仕の形を考える機会になればよいと考えています。

E グループ議事録

- ・地区指導の熱海・佐賀・長崎への義援金の支援。

- ・オリンピックセイリング会場での熱中症対策でのうちわを配布。

- ・ブルーフラッグ・海の環境国際認証 海岸ごとに厳しい条件をクリアすると認証が受けられる。

- ・NPO と一緒に活動出来ないか考えている。時期を見ながら進める。

- ・ブナの植林事業は社会奉仕であるが青少年奉仕であり職業奉仕であり環境問題への取り組みでもある。見本にしたい。

- ・まん防止により例会が開かれていない。

- ・45 周年の節目として青少年育成をテーマにサーフィンを軸とした運動会を予定している。

- ・ビデオ作製やリモート・zoom を活用しながら会員に届けられるメッセージを試行錯誤しながら取り組んでいる。
- ・活動が難しい状況にある。秋に大根の収穫祭の案があったが断念。
- ・現在、水面下で今年度、次年度に向けて活動案を試案中である。
- ・コロナや雪に負けずに会員相互のコミュニケーションを図って進めて行きたい。
- ・5月に20名ほどでホタル・カワニナの生息地・繁殖地の視察を予定。ホタル研究者の講演を聞く。
- ・ホタルの祭りに参加予定。市役所職員や高校生、中学生、第5Gのメンバーで参加。
- ・障害者に向けての奉仕事業を考えていたがコロナの影響で活動出来ずにフォーラムが多くなりみんなで考える時間ができた。
- ・緊急事態宣言以外はzoomを併用して例会は開催。
- ・地区ビジョンの地域社会のニーズを捉えてと会長方針の恩を感じて答えていくが活動方針となっている。
- ・10月に献血事業（毎年開催）会員で日本赤十字への協力。
- ・クラブ60周年として市民活動推進助成金を行っている。
- ・地域の課題に対して活動する個人（3万円）・団体（5万円）を応援する助成金。60周年の式典で贈呈する。
- ・助成金については市の協力を得てポスターを配布しロータリーの活動を知ってもらう活動をしている。
- ・青少年絵画コンクールを実施。表彰式のみで会場の絵はネットで見てもらった。
- ・クラブ協議会で社会奉仕の在り方や先輩会員の心に残る活動を話してもらった。
- ・zoom併用で例会は行っている。
- ・人が集まる活動ができないため青少年奉仕として野球大会、ソフトボール大会、柔道大会に寄付・メダルの授与。
- ・国際奉仕として4年目となるラオスの子供病院へzoomで寄付金を贈呈。当初は出向いていた。
- ・社会奉仕として赤十字と組んで献血事業を計画している。
- ・人と関わる事が出来ないが形を変えて事業を継続している。
- ・例会はハイブリット例会として開催している。
- ・たばこ祭りなど市の行事でポリオ撲滅・麻薬撲滅キャンペーンを予定していたが中止となってしまった。
- ・昨年の秋に座禅会の後に文化財にもみじを植樹。観光の名所としたい。
- ・青少年奉仕として幼稚園、保育園に絵本を配布。国際奉仕として外国コインを集める活動をしている。
- ・コロナ禍で活動が出来ていない。
- ・例年は小田原市つくしんぼう教室の運動会の裏方としてお手伝いしているが2年間中止となっている。
- ・IT化が進んでいないので今月はまん延防止等により例会は中止。
- ・伊勢原3クラブ合同による道灌祭りでの薬物防止、エンドポリオナウキャンペーンは今回できなかった。
- ・3月末に補助金を利用しての市内公園の整備事業を予定。この事業に一般の方のボランティアを募るか検討中。
- ・以前だと自治会などに声をかけて事業を進めてことはある。一般の方を広く募集したいが今の状況では難しい。
- ・第4Gとしてロータリー奉仕デーに環境保全の目的で相模川クリーンアップ作戦5月29日に予定。
- ・相模川流域協議会に支援してもらう。ボーイスカウトにも声をかけ25%ロータリアン以外を招き入れる活動を企画している。
- ・第5Gの桂川と相模川はつながっているので流域協議会が同じ範囲なので第5Gの方も参加してくれる。
- ・第9G、4月13日にロータリー奉仕デーとして小田原城の周辺を7クラブ合同で清掃する。
- ・他団体、米山奨学生、ローターアクト、インターアクトの方々を巻き込んで清掃活動をして行く。

F グループ議事録

- ・サッカー大会の支援
- ・交響楽団の定期演奏会に障害者の子供と家族を招待
- ・養護学校と連携して、会員の企業で職場体験。
- ・コロナ禍で人数を絞って出来る事を選択している
- ・献血への呼びかけ等の街頭活動は出来なかった。
- ・社会奉仕は年3回
- ・春と冬は茅ヶ崎駅南口のプランターの植栽
- ・夏の浜降祭でもゴミの清掃奉仕は、祭りの中止で実施不可
- ・子供達や地域の方々を巻き込んだ事業が大変参考になった
- ・乳児院の子供たちをみかん狩りに招待
- ・サッカー大会の開催
- ・江ノ島でのオリンピックの暑さ対策グッズの配布等の支援（第3Gで）
- ・祉協運営の老人福祉センターの花壇の植栽（年3回）
- ・会員数が少ない（11名）ので地域の生涯雇用支援団体の支援を得ている
- ・植え替えた花をご高齢の方々に持ち帰っていただいている
- ・次年度以降は、回数を増やすことも考えている。
- ・毎年緑化まつりでの巣箱造り。小学校低学年の参加者は家族で参加している
- ・昨年は緑化まつりは中止だったが、巣箱造りのビデオを動画で配信
- ・今年の緑化まつりは制限があり参加しないので他のことを考える必要がある
- ・今年度は神奈中のラッピングバス実現にメンバーが協力した
- ・コロナ禍で本年度はほとんど活動は出来ていない
- ・継続事業として金目川クリーンキャンペーンを13年間実施
- ・今後の50年を見据えクラブ色を明確にして青少年を中心に新事業を企画中
- ・継続事業も大事だが、地域ニーズに即した単発の事業も検討中
- ・金目小学校の横の公園に50周年記念の桜があるので見て頂ければ幸いです
- ・社会奉仕と青少年奉仕を余り線引きをせず事業を検討していきたい
- ・本年度は委員長の退会もあり仕切り直している
- ・ミャンマーへの医療提供者を資金支援
- ・山梨の難病を抱えている子供たちを一時的に預かる施設への支援
- ・大和市の障害者楽団のコンサート運営支援
- ・4月の上旬にヤマユリが満開になりますので皆さんにぜひ見て頂きたい
- ・サツマイモの植栽。地域の保育園、幼稚園のお子さんに苗植えから収穫まで体験
- ・コロナで会員のみで実施。今後も継続していく
- ・国際競技会中で「奉仕活動のインパクト」について話し合いがあった
- ・インパクトのある奉仕事業を紹介する「イマジンインパクトツアー」を行う
- ・情報共有により、ロータリアンのイマジンに火をつける
- ・足柄クラブの発表されたプロジェクトは大変インパクトのあるものだった
- ・奉仕活動に重要なものは①社会的なニーズをしっかりと掴む ②会員の協力・理解をえる
③地域の人たちと協力し合える ④継続するかどうか必ず検証する